

放課後等デイサービス

KAIZUKA療育センター 楽々園

営業時間

平日 / 11:00~20:00
土曜日・長期休暇 / 9:00~18:00

送迎

あり



事業所理念・支援方針

KAIZUKA療育センターでは、10年後～20年後を見据え、それぞれの「社会」の中で生活していく術を身につける事を目的としています。児童にとっての「社会」は学校生活であり、その中で本人自身の問題や環境的な問題から、様々な壁にぶつかる事が想像されます。KAIZUKAでは、そういった壁を乗り越えられる力を身につけるために、集団生活を通して本人自身の力になるように支援しており、それら一つひとつの力が積み重なっていくことで、10年後～20年後に「社会」の中で生活していける術が身についていくと考えています。



健康・生活

【あいさつ】

来退所時のあいさつは、もちろんのこと、お礼や謝る際の言葉も大切であることが学べる支援を行っている。

【生活リズム】

決められた時間や曜日といった枠の中で生活リズムを整え身に付いて来た児童には、自ら枠を作っていくトレーニングを行っている。



運動・感覚

【感覚統合】

さまざまな感覚から受け取る「刺激」と「脳の働き」を統合していく支援を行っている。

【タイムアウト】

感覚刺激が多くパニックになってしまう児童には、刺激の少ない空間で落ち着ける様支援している。



認知・行動

【自己理解】

問題行動や他児とのトラブルから行う個別のSSTを通して自分自身の言動や行動に対して振り返りを行い自己理解を深めている。

【アンガーマネジメント】

日々の活動の中で自分の気持ちを認知し、怒りの感情など問題行動に繋がりそうな感情との向き合い方を一緒に考えている。



コミュニケーション
・言語

【質問相談】

日常生活の中で困ったことや躓いた事があった際には、自分の言葉で相談質問できる環境を整えている。

【言語理解】

表面的な言葉の理解ではなく言葉と意味合いが一致するように視覚的に図や絵を用いりながら支援している。



人間関係
・社会性

【縦割り療育】

様々な年齢層の児童同士が関わる中で年下の児童は先のビジョンをイメージし、年上の児童は面倒をみる等の関わりを経験出来る支援をしている。

【対人関係】

他者との関わりを通して相手が何を感じ動いているのか感じ取り、「気づき」「考え」「行動する」事が出来る手助けを行っている。

KAIZUKA
療育センターの
5領域と
支援プログラム

家族支援

- ・定期的に保護者面談を行い子育ての困り感や特性の理解に向けた相談援助
- ・子育てや障害に対する情報提供を行っている。
- ・イベント等を通して保護者間の交流の機会を作っている。

地域支援・地域連携

事前の承諾を得たうえで

- ・学校や併用事業所との連携・相談援助
- ・医療機関・基幹支援センターとの連携
- ・行事を通して地域住民との交流

移行支援

- ・進路先や移行先の選択への相談援助や情報提供
- ・将来的な移行を見据えた目標や支援内容の設定
- ・学校や併用利用先との情報共有や擦り合わせ

職員の質の向上

- ・定期的にケースカンファレンスを行い子どもの特性理解を行っている。
- ・社外研修にも足を運び情報収集・アップデートを行っている。

主な行事等

長期休暇時には、遠足等のイベントや祭りの開催を行っている。